調査票：児童の保護者

目黒区障害者計画のためのアンケート調査

ご協力のお願い

区民の皆様には、日頃から目黒区の障害福祉行政にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

目黒区では現在、平成30年３月に策定しました「目黒区障害者計画（令和３年３月まで）」の改定に取り組んでいます。

このアンケート調査は、発達に関する不安や障害のあるお子さまの保護者の方、約450名を対象に、普段の生活の様子や将来の希望などについておうかがいし、計画改定の基礎資料を得ることを目的として実施するものです。

ご回答いただいた内容は統計的に集計・分析し、報告書としてまとめ、目黒区ホームページでお知らせします。

なお、この調査票は無記名ですので個人が特定されることはございません。ぜひ、率直なご意見をお聞かせください。

ご多用のところ恐縮に存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年９月　　目黒区　健康福祉部

ご記入にあたってのお願い・注意事項

１　このアンケート調査票は、保護者の方がお答えください。

２　郵送により、別のアンケート調査票が届く場合がありますが、質問の内容が異なりますので、２通ともお答えいただきますようお願いします。

３　アンケート調査の回答方法は、次の２種類があります。①か②どちらか１つを選んで、回答してください。

①この用紙（紙）に直接回答を記入し、同封の返信用封筒に入れてポストに投函する。
（切手は不要です。封筒に差出人のお名前を記入する必要もありません。）

②パソコンやスマートホン等を使用し、データを入力する。

【　ＵＲＬ　https://www.msk2019.jp/f　】（半角英数字で入力）

（あなたのＩＤとパスワードはこの用紙の右上に記載しています。）

４　わからない質問や答えたくない質問には無理に答えなくてもかまいません。

５　アンケート調査票は、１０月４日（金）までに投函あるいはパソコン等でご回答ください。

６　この調査に関してのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

目黒区 健康福祉部 障害福祉課 障害施策推進係

電　　話：５７２２－９８４８（直通）
ファックス：３７１５－４４２４
Ｅメール：shofuku07@city.meguro.tokyo.jp

はじめに、保護者の方についてお聞きします。

問１　お答えいただくのは、どなたですか。（１つに○）

1．父親
2．母親
3．両親以外の家族
4．その他

問２　お答えいただく方の就労状況をお聞きします。（あてはまるものすべてに○）

1．父親がフルタイム勤務
2．父親がパート・アルバイト勤務
3．父親が就労していない
4．母親がフルタイム勤務
5．母親がパート・アルバイト勤務
6．母親が就労していない
7．両親以外の保護者がフルタイム勤務
8．両親以外の保護者がパート・アルバイト勤務
9．両親以外の保護者が就労していない
10．その他

お子さんのことについてお聞きします。

問３　発達に関する不安をお持ちのお子さん、障害のあるお子さんの性別と令和元年９月１日現在の年齢をお答えください。
（２人以上のお子さんがいらっしゃる場合はそれぞれにお書きください。）

1．男性 2．女性	（　　）歳　※年齢をご記入ください
1．男性 2．女性	（　　）歳　※年齢をご記入ください
1．男性 2．女性	（　　）歳　※年齢をご記入ください

問４　発達に関する不安やお子さんがお持ちの手帳について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1．身体障害者手帳　問４－Ａにお進みください
　1．1級　2．2級　3．3級　4．4級　5．5級　6．6級
2．愛の手帳
　1．1度　2．2度　3．3度　4．4度
3．精神障害者保健福祉手帳
　1．1級　2．2級　3．3級
4．難病
5．高次脳機能障害
6．発達障害
7．医療的ケア（たん吸引、経管栄養、酸素吸入等）
8．定期的な服薬や自己注射
9．小さく産まれた子どもの発達に関する不安
10．言語発達に関する不安
11．運動発達に関する不安
12．多動や衝動性等行動に関する不安
13．対人関係等コミュニケーションに関する不安
14．その他
15．特になし

★**身体障害者手帳をお持ちの場合にお聞きします。**

問４－Ａ　主な障害の部位は次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

1．視覚
2．聴覚・平衡機能
3．音声・言語・そしゃく機能
4．肢体不自由（上肢・下肢・体幹機能）
5．内部障害（心臓、呼吸器、じん臓、肝臓、ぼうこう、直腸、小腸、免疫機能）
6．その他

★**身体障害者手帳をお持ちの場合にお聞きします。**

問５　障害者手帳をはじめて交付されたのはいつですか。（１つに○）

1．生まれたとき
2．乳幼児期から小学校入学前まで
3．小学校入学後から小学校卒業まで
4．中学校入学以降

問６　お子さんは、どなたと一緒に暮らしていますか。（あてはまるものすべてに○）

１．父親	２．母親	３．祖父
４．祖母	５．兄弟姉妹	６．その他の親族
７．その他		

※お子さんからみた続柄（関係）で回答してください。

問７　お子さんの介護や支援をしている方はどなたですか。
そのうち、主に介護や支援をしている方はどなたですか。

介護や支援をしている人（あてはまるものすべてに○）

１．父親
２．母親
３．祖父
４．祖母
５．兄弟姉妹（兄弟姉妹の配偶者を含む）
６．子ども・孫（子ども・孫の配偶者を含む）
７．その他の親族
８．訪問看護師・ホームヘルパーなどの在宅サービス提供者
９．保育園・幼稚園・学校の教職員
10．相談支援事業所の相談支援専門員
11．児童発達支援・放課後等デイサービス事業所の職員
12．入所施設や病院の職員・世話人
13．友人・知人
14．ボランティア・ＮＰＯ職員
15．公的機関の職員（保健所等）
16．介護や支援は必要ない
17．その他

問７－Ａ　上記で○をつけた人のうち、主に介護や支援をしている人の番号を右枠に１つご記入ください。	番号	

問７－Ｂ　問７－Ａの「主に介護や支援をしている人」の年齢はいくつですか。
（１つに○）

１．１８歳未満	２．１８歳～３９歳	３．４０歳～６４歳
４．６５歳～７４歳	５．７５歳以上	

問8　お子さんは、平日の日中、どのように過ごしていますか。
（あてはまるものすべてに○）

1．幼稚園・保育園に通っている
2．区立小中学校の通常学級に通っている
3．区立小中学校の通常学級に通いながら、特別支援教室を利用している
4．区立小中学校の特別支援学級に通っている
5．特別支援学校に通っている
6．児童発達支援事業所等に通っている
7．家で過ごしているが、ときどき散歩や買い物に連れて行く
8．戸外に連れて行きたいが、手が足りず、家で過ごす
9．戸外へ連れて行きたいが、出かけたがらず、家にいる
10．その他

発達の不安や障害に気づいたときについてお聞きします。

問９　お子さんの発達の不安や障害に気づいたきっかけは何ですか。また、それはいつごろですか。

気付いたきっかけ（１つに○）
1．家族が気づいた
2．定期健診（乳幼児健康診査）を受けたとき
3．病院で受診したとき
4．保育園・幼稚園・学校の教職員から
5．その他

問９－Ａ　発達の不安や障害に気付いたお子さんの年齢を右枠にご記入ください。	年齢	

問 10　お子さんの発達の不安や障害に気づいたとき、誰（どこ）に相談しましたか。
（１つに○）

1．家族・親族
2．主治医・かかりつけの病院
3．区役所
4．保健所
5．児童発達支援センター
6．障害児相談支援事業所
7．保育園・幼稚園・学校の教職員
8．子ども家庭支援センター（ほねっと）
9．めぐろ学校サポートセンター
10．発達障害支援拠点（ぽると）
11．その他

問 11　発達に関する不安や障害のあるお子さんが、早期に適切な支援を受けるために必要なことは何だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1．専門家による相談体制を充実させる
2．乳幼児の健康診断を充実させる
3．電話・メールによる相談体制を充実させる
4．関連するサービスについての情報提供を充実させる
5．居宅訪問や訪問看護等による相談や支援サービスの提供
6．その他

お子さんの教育・療育についてお聞きします。

★就学前のお子さんについてお聞きします。

問 12　お子さんが受けている療育や支援について充実させるべきだと思うことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1．会話などコミュニケーションに対する支援
2．トイレや食事など日常生活に対する支援
3．言葉や読み書きに対する支援
4．友達など、人との関わり方に対する支援
5．保護者への支援
6．療育を行う施設の増設
7．費用に対する補助
8．送り迎えなど、通所・通園に対するサービス
9．療育の内容や施設についての情報
10．自宅での療育
11．療育施設や保育園職員・幼稚園教諭のスキルアップ
12．医療的ケアが必要な児童への支援
13．その他

★**就学中のお子さん**についてお聞きします。

問 13　お子さんが受けている教育や学校生活について充実させるべきだと思うことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1．学習指導	2．学校や施設の整備
3．ガイドヘルパーによる通学時の介助	4．スクールバスによる通学時の送迎
5．日常生活に対する支援	6．カウンセリングなどの心のサポート
7．友人との関係づくり	8．教職員の理解・支援
9．周囲の保護者の理解	10．就労に向けた教育
11．クラブ・部活動などの課外活動	12．その他

★**就学中のお子さん**についてお聞きします。

問 14　お子さんは、放課後や夏休みなどの長期休業中は、どのように過ごしていますか。（あてはまるものすべてに○）

1．自宅で家族と過ごす
2．家族と旅行や普段行かれないところへ出かける
3．友達と遊ぶ
4．学習塾・習い事やスポーツなどをする
5．クラブ活動・部活動（学校内）をする
6．児童館・学童保育クラブへ行く
7．放課後フリークラブ・ランドセル広場を利用する
8．放課後等デイサービスや地域活動支援センターを利用する
9．一人では外出できないので、家にいる

10．ガイドヘルパーなどと外出する	11．一人で過ごす
12．特になにもしていない	13．その他

★**就学中のお子さん**についてお聞きします。

問 15　あなたは、放課後や長期休業中など、学校以外の時間をどのように過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1．家族と旅行や普段行かれないところへ出かけたい
2．同世代の子どもと遊ばせたい
3．学校、児童館や学童保育クラブなど身近な施設で過ごさせたい
4．学習塾・習い事やスポーツなどをさせたい
5．放課後等デイサービスを利用したい
6．ガイドヘルパーなどと外出したい
7．自宅で過ごさせたい

8．その他	9．特にない

★就学中のお子さんについてお聞きします。

問 16　お子さんが受けている療育や支援について、充実させるべきだと思う点はありますか。（あてはまるものすべてに○）

1．会話などコミュニケーションに対する支援
2．トイレや食事など日常生活に対する支援
3．学習に対する支援
4．友達など人とのかかわり方に対する支援
5．保護者への支援
6．療育を行う施設の増設
7．費用に対する補助
8．送り迎えなど通学に対するサービス
9．外出時のガイドヘルパーによる移動支援
10．療育の内容や施設についての情報
11．自宅での療育・居宅介護や訪問看護
12．施設や学校教職員のスキルアップ
13．医療的ケアが必要な児童への支援
14．放課後や長期休暇の過ごし方に対する支援
15．特にない
16．その他

お子さんの将来のことについてお聞きします。

問 17　お子さんには、将来どのように暮らしてほしいですか。（１つに○）

1．自宅で家族と暮らしてほしい
2．自立してアパートやマンションを借りるなどして暮らしてほしい
3．グループホームのようなところ（介護や支援、見守りがある少人数の共同生活の場）で暮らしてほしい
4．障害者入所施設等で暮らしてほしい
5．その他
6．わからない

問 18　お子さんの将来のことで、不安に思うことはありますか。
（あてはまるものすべてに○）

1．お子さんの進学のこと
2．お子さんの就職のこと
3．お子さんの結婚のこと
4．友人や仲間、理解者がいるか
5．将来、家族と離れて自立した生活ができるか
6．将来の住まいについて
7．将来の生活の経済的な保証について
8．将来の介護者について
9．本人の権利擁護や金銭管理を任せられる人が見つかるか
10．緊急時や困った時に助けを求められるか
11．本人なりに充実した生活が送れるか
12．その他
13．不安に思うことはない

問 19　お子さんが、将来、地域で自立して生活するために、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1．地域の理解
2．就労の場
3．生活費の支援
4．住居の支援
5．身近な相談相手
6．家族や支援者（ホームヘルパーなど）
7．自立生活プログラムの実践
8．その他

問 20　お子さんが将来仕事に就くために重要だと思われることは何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

1．就職に向けた本人、家族の意識啓発
2．就職に向けた相談
3．給料が充実していること
4．就職先の紹介等の支援
5．就職に必要な知識・技術等の習得
6．就労に必要なコミュニケーション技術等の習得
7．本人の健康管理等の支援
8．障害特性に配慮した職場環境の整備
9．就職後の相談・支援（定着支援）
10．企業、上司、同僚の理解
11．その他

お子さんとの外出についてお聞きします。

問 21　お子さんと一緒に、またはお子さんがひとりで外出するときに、困ったり不便を感じたりすることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1．歩道、道路、出入口に段差がある
2．階段の昇降が困難である
3．エレベーターがない
4．路上に障害物がある
5．標識・標示の案内がわかりにくい
6．保護者以外の介助者や付き添いがいない
7．お子さんが使えるトイレがない（子ども用トイレや「誰でもトイレ」）
8．電車・バス・タクシー等の乗降が困難である
9．電車・バス・タクシーの中や、店、施設の中で落ち着いて過ごすことが難しい
10．自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとることが難しい
11．障害があることや症状について理解されにくい
12．周りの目が気になる
13．その他
14．大変なので、外出は控えている
15．困ったり不便に感じることはない

問 22　お子さんとの外出時に、どのような支援やサービスがあると良いと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1．外出時の介助者・ガイドヘルパーの派遣
2．電車やバス、タクシー運賃の補助
3．施設の入園料・入場料の補助や割引
4．交通や施設のバリアフリー情報（エレベーター・「誰でもトイレ」等）
5．イベントや遊ぶことのできる場所についての情報
6．その他
7．支援やサービスは必要ない